

新栄だより vol.33

PFI事業・大沢野地域公共施設が2023年2月に竣工しました



PFIとは・・・Private Finance Initiative＝民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行う手法です

(清水建設様HP：「PFI事業の実績紹介」より)

▲大沢野地域公共施設複合化事業



▲外観



▲外観



▲開架室



▲別館玄関ホール

私は清水建設様ご指導の下、2022年4月から2023年2月までの11か月間工事を担当させていただきました。概要は既存の行政センター、図書館を移転し、新たに多目的ホール、集会場と4つの建物を合わせた地域複合施設です。この建物は災害時の避難用の建物となるため、各エリアの照明、コンセント、空調の20%程度を自家発電機で賄えるよう配慮されています。工事に関しましては、大沢野地域が接地抵抗値が出にくい地域の為、事前調査を行い、値の良いところを把握することで工事の省力化を図ることが出来ました。また、工事中はコロナ対策で密にならないように十分に気を付けて施工しました。私事ですが、地元大沢野のランドマーク的な建物の工事に携わることができ、大変光栄に思いますと共に感謝申し上げます。

(工事部施工管理課・中川)

▲別館改修工事は9月に竣工しました(既存解体は来年の3月までです)

今回、大沢野地域公共施設複合化事業(別館改修業務)に携わり先日竣工しました。この現場はPFI事業として工事を進めていまして、事前に本館新築工事が終わった後の2期工事として施工したものです。既存解体時に撤去と残置の判断がつかなくて苦労しました。既存の照明、コンセントの配線ルートの調査にかなり時間が掛かりましたが、なんとか竣工にこぎつけました。関係者各位には、ご協力いただき大変ありがとうございました。無事、竣工できたことに感謝し、ご報告させていただきます。

(工事部施工管理課・江尻)

「清水記念公園」

清水建設様発祥の地が富山市小羽にあります



▲公園入口の様子

▲顕彰碑

▲澁澤栄一翁の揮毫

1783年（天明3年）

創業者初代喜助翁は、越中国婦負郡小羽村に生まれる。幼少の頃から彫刻の才や大工の技に秀でていたとされている。好きな大工の道で名を成したいとの思いで故郷の小羽を離れ、日光東照宮の修理工事に従事した後、江戸に入る。

1804年（文化元年）

神田鍛冶町に大工業を開業。（当社はこの年を創業の年としている。）諸大名家の御用達大工として頭角を現し、開港間もない横浜への進出を果たすなど社業の発展に尽くす。

1927年（昭和2年）

清水康雄（後の五代当主 清水建設社長）が神通川沿いにある小羽という地名だけを頼りに喜助翁生誕の地を探訪。

1928年（昭和3年）

四代目当主、清水満之助が喜助翁の生家の裏山にあたる小高い丘の上に翁の功績を称える顕彰碑を建立し、顕彰碑の周辺は清水宗家により「清水記念公園」として整備される。「清水包喜翁之碑」と記された石碑の文字は、日本の資本主義の父とされ当社隆盛のため支援をいただいた澁澤栄一翁の揮毫によるもの。

（パンフレット：「清水記念公園」より）

11月6日、風の強い天候でしたが私たちは公園を拝見させて頂きました。11月2日の式典の後片付けをされている方が何人かおられました。そのうちのお一人が私たちに公園を案内して下さいました。清水公園の歴史・顕彰碑・澁澤栄一翁の揮毫・小羽小学校での新人研修会など説明をいただきました。初代喜助翁の創業の精神に立ち返ることの出来る場所、清水建設様にとって「心のよりどころ」というべき永遠に守り続けて行く場所とお聞きました。確かに創業の精神が伝承されていると感じます。突然訪問した私たちに自然に当たり前のように公園を案内して頂きました事を感謝致します。ありがとうございました。

（工事部施工管理課・上沢）

資質向上研修会

仕事の実行力・マネジメント力向上セミナー



今年は、5月20日（土）と10月7日（土）の2回、富山県民会館にて資質向上研修会を開催しました。今年は2024年4月から建設業にも施行される「時間外労働規制」を見据え、働き方改革に重要な「意識改革」に着目した「仕事の実行力・マネジメント力向上」をテーマに、春には「タイムマネジメント編」、秋には「優先順位編」について講師に面談LABO株式会社ASコーポレーション 代表取締役 柴谷良行様をお招きしてご講演いただきました。今年開催された2回の研修会では、仕事は着手する前に「ゴールを明確にする」ことがポイントで、また、求められている事を理解した上で「優先順位付け」をし、仕事を進めることが大事であることを学びました。また、日々の仕事における「無駄」を削除することにより、仕事の効率が高まることも再認識する事ができました。この研修内容を仕事で活かせるよう、できるポイントから取り組み、習慣化していきたいです。

（総務部総務課・酒井）

<タイムマネジメントの原則>

時間管理は行動管理

<タイムマネジメントの3つのポイント>

ポイント1 「時間」は管理できない
ポイント2 管理できるのは「仕事」と「行動」
ポイント3 「行動」や「考え方」の習慣を変える

<仕事に着手する前のポイント>

仕事のゴールを明確にする。→QCDDRを確認する
Q [質] : 要求水準の確認→時間に影響
C [コスト] : 工事費、人件費、工数(時間)
D [納期] : 納期(いつまで)→コストに影響
R [リスク] : 人命/企業イメージ/信頼関係/代替策

<ムダの削除方法>

- ①[排除] やめても影響なければやめる。
- ②[結合] 分けている業務を1回で済ませる。
- ③[変更] 配置や順番を変えて行動のムダを減らす
- ④[単純化] 作業工程を減らして簡単にする

9月2日富山城址公園の美化活動をしました



当社では年2回の美化活動を行っています。新型コロナウイルスの流行期間中は密を避け、会社周辺の美化活動を実施してきました。今年は、城址公園で活動を行うことができたのは4年ぶりです。現地では自然と役割分担ができ、ごみ拾いや落ち葉拾い、雑草の除去などを行いました。今後もこのような美化活動を通して、環境整備を継続し、人が気が付かない所もきれいにし、人に対する気づき力を高めていきたいと思ひます。

(環境整備推進委員長・江尻)



▲施工管理課・姫野、清水社長



▲施工管理課・江尻



▲企画・伊藤

ご紹介しします。呉羽の“はちみつや”



楽園のようなこの風景を、
咲きほこる花の香りをお伝えしたい。

(HP映像:「はちみつや」様より)



▲お店への小路

今回電気工事のご依頼を受けた「はちみつや」様をご紹介します。場所は富山の呉西と呉東の境目になる呉羽山の麓に位置する茶屋町にあります。店主は養蜂家の池田薫様です。養蜂家とはミツバチを飼育し蜂蜜などの産出物を採る仕事です。池田様の名刺の裏面に「(Land of milk and honey) 大切な人と、作り出す喜びを分かち合う生活の場を持つこと。そんな豊かさの中で、ミツバチと共に暮らしを。何も足さない加熱もしない粗しぼりそのままのはちみつを生産・販売」と記されていました。(Land of milk and honey) を直訳するとミルクとハチミツの国ですが、調べてみると旧約聖書で神がモーセに伝えた言葉として豊かな土地を表す意味となっていました。この名刺裏の少しのフレーズだけで興味深く感じたのは私だけではないのではないのでしょうか。始められたきっかけや商品の詳細は、はちみつやHP (hachimituya.jp) をご覧ください。私は夏に訪問した時にハニーレモンソーダ割を頂きとても美味しく、蜂蜜はこのようないるんなアレンジも楽しめるのだと思ひました。店舗に入ると馥郁とした香りが漂うとてもおしゃれなお店で。是非お店にもお立ち寄り下さい。

(専務取締役・片山)



▲生はちみつ



▲菜の花と蜂

近況報告

工事部クレーム報告

2022年11月21日～2023年11月20日まで

- ・施工不良に関するもの 3件
- ・調査不足によるもの 1件
- ・予算修正・請求に関するもの 3件
- ・メーカー不良によるもの 3件
- ・顧客苦情 1件
- ・現場の管理担当の不足 1件



施工不良の件については、新友会（協力業者）で写真付きでクレームになった事例を検証しました。討議の中では、施工方法・マニュアルの見直しが必要となる意見ができましたので、品質向上のため、必要に応じてマニュアルは変更していこうと思います。また、お客様への電話での対応が遅くなり、お客様に迷惑を掛けてしまった事がありました。この件は早朝会議で話し合い、忙しくて対応出来ない場合は、他の担当者をお願いする等の協力体制の在り方を話し合いました。また施工反省会では、その現場の失敗や成功を全員で共有して、お客様に満足していただけるよう、改善案を出していきます。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

（工事部施工管理課・藤川）

チーム新栄の仲間が増えました



総務課の荒井です。この度ご縁があり新栄電設に今年の4月に入社致しました。入社初日から美化活動や春季懇親会などイベントが盛りだくさんで驚きましたが、みなさまに顔を覚えてもらうきっかけにもなり、温かく迎えていただけてとても感謝しています。今年は創業45周年ということもあり記念旅行の3泊4日の北海道旅行にも参加させていただきました。自分では普段行くことのできない観光コースで参加者のみなさまと交流を図ることができ、大変思い出に残る旅行となりました。前職からの他業種への転職ということもあり、入社当初はほとんど何も分からない状態でのスタートで不安も多々ありましたが、とにかく与えられた仕事を正確にこなすことを心掛けてきました。現在は入社から約9か月が経ち、周りのみなさまのサポートのおかげでできることや分かることが増えてきたと実感しています。これからもお客さまのため、新栄電設のためにお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します！

（総務部総務課・荒井）

“あと施工アンカー”の講習会を受講しました



施工不良等が発生しない様、技術講習会を開催しました

11月17日（金）当社で社員と協力業者様17名で、あと施工アンカーの講習会を受講しました。講師にユニカ株式会社名古屋営業所の加藤様と佐藤様に来て頂きました。（ユニカ様はコンクリートドリル・コアドリル・ホールソー及びあと施工アンカーの設計、開発の専門メーカーです。）アンカーの種類として接着系（注入方式とカプセル方式）・金属拡張系があります。その商品の強度を出すため正しい方法で施工する必要があります。今回の講習では施工での注意事項と実際にあと施工アンカー、3種類の実地試験を行いました。写真は接着系アンカーのカプセル方式です。

（工事部施工管理課・松永）

社長よりご挨拶

新栄だより第33号の発刊にあたりご挨拶申し上げます。今回の新栄だよりでは清水建設様の発祥の地に関してご紹介させていただきました。「心のよりどころ」として大切にされていることが現地に行くと空気からも伝わってまいります。創業の精神・思いを色濃く繋いでいることが永く反映している企業の共通点であると感じてまいりましたが、まさにそのものであると感じます。また、その聖地が富山県にあることを誇らしく感じます。弊社でも「お客さんの役に立ち、喜んでいただく」という創業の精神をしっかりと繋いでいく所存です。寒さが一段と厳しくなってまいりました。お風邪などお召しになりませんようご自愛ください。

（代表取締役社長・清水）